

クラーク先生ご子孫の北海道大学訪問歴

※ () は訪問年

子の代 (2代目)

- ・ ヒューバート・ライマン氏 (1929)

孫の代 (3代目)

- ・ ウイリアム・スミス・クラーク二世 (1921~1923, 1956, 1960)
- ・ ジャネット・S・クラーク氏 (1955)
- ・ Willaim Bates Greenough Jr.氏 (1984)

- ・ Fraster Myers氏 (1955)
- ・ ペネロープ・F・C氏 (1971)
- ・ ハリエット・リチャーズローティ氏 (2003)

- ・ スティラット・H・クラーク氏 (1976, 1988, 2002, 2006)



2006年来札時、総合博物館前にて (同氏は右から2番目)

曾孫の代 (4代目)

- ・ Jane Ashley Lundy氏 (2012)



大学文書館にて (右が同氏)

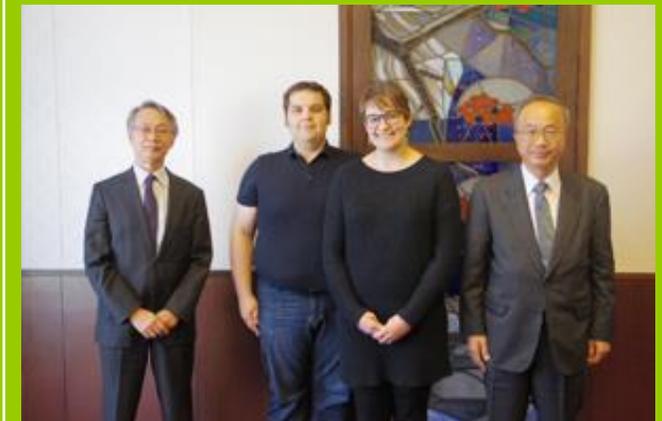
玄孫の代 (5代目)

- ・ Adam (1986)
- ・ ダイアナ・マイヤーズ (1986)
- ・ Thomas・G・Giese氏 (2008)



総長室にて (同氏は中央)

Jordan Kalman氏 (2016)



事務局にて (同氏は右から2番目)

来孫の代 (6代目)